

事例 13

- 性 別男性
- 年 齢81 歳
- 介護環境介護老人保健施設
- 最も類似する状態像の例 2 - 5
- 要介護度変更要介護 1 → 要介護 2
- 審査及び判定の概要

平成 8 年頃から問題行動が増悪している事例。

介護認定審査会では、問題行動に関して介護の必要性について検討が行われた。「特記事項及び主治医意見書から、毎日の夜間の廊下への放尿などの問題行動のため後始末等に相当な手間がかかるのではないか」といった意見があり、検討を行った。これらの議論を踏まえ、状態像の例との比較と併せ、要介護 2 に変更した。

介護審査会資料

申請区分：新規申請

被保険者区分：第1号被保険者

年齢 81
性別 男
過去の認定審査会結果 なし
前回認定有効期間
前回介護保険審査会結果 なし
一次判定結果 要介護1
要介護認定基準時間 41分
機能訓練+間接生活介助

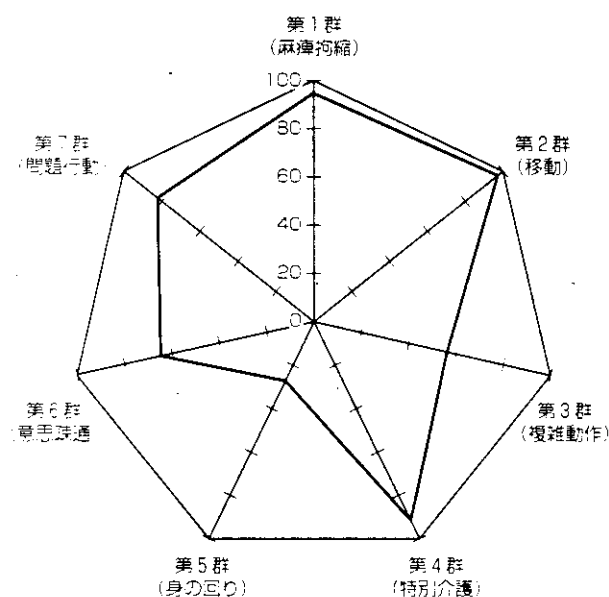
--	--	--	--	--	--

現在の状況 介護老人保健施設
訪問介護（ホームヘルプサービス） 0回/月
訪問入浴介護 0回/月
訪問看護 0回/月
訪問リハビリテーション 0回/月
居宅療養管理指導 0回/月
通所介護（デイサービス） 0回/月
通所リハビリテーション（デイケア） 0回/月
福祉用具貸与 0品目
短期入所生活介護 0日/月
短期入所療養介護 0日/月
痴呆対応型共同生活介護 0日/月
特定施設入所者生活介護 0日/月
福祉用具購入 0品目/6月間
住宅改修 なし

障害老人自立度：A2

痴呆性老人自立度：Ⅲa

中間評価項目表



中間評価項目得点

第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群
94.3	97.2	56.4	89.5	27.9	64.1	82.8

(特別な医療)

点滴の管理 : 気管切開の処置
中心静脈栄養 : 疼痛の看護
透析 : 経管栄養
ストーマの処置 : モニター測定
酸素療法 : 褥瘡の処置
レスピレーター : カテーテル

第1群 1. 麻痺 (左-上肢)
(麻痺拘縮) (右-上肢)
(左-下肢)
(右-下肢)
(その他)
2. 拘縮 (肩関節)
(肘関節)
(股関節)
(膝関節)
(足関節)
(その他)

ある
ある

第2群 1. 寝返り
(移動) 2. 起き上がり
3. 両足での座位
4. 両足つかない座位
5. 両足での立位
6. 歩行
7. 移乗

自分で支えれば可

第3群 1. 立ち上がり
(複雑動作) 2. 片足での立位
3. 浴槽の出入り
4. 洗身

つかまれば可
支えが必要
一部介助
一部介助

第4群 1. ア. じよくそう
(特別介護) イ. 皮膚疾患
2. 片手胸元持ち上げ
3. 嚥下
4. ア. 尿意
イ. 便意
5. 排尿後の後始末
6. 排便後の後始末
7. 食事摂取

ときどきある
間接的援助
直接的援助

第5群 1. ア. 口腔清潔
(身の回り) イ. 洗顔
ウ. 整髪
エ. つめ切り
2. ア. ボタンのかけはずし
イ. 上衣の着脱
ウ. スポン等の着脱
エ. 靴下の着脱
3. 居室の掃除
4. 薬の内服
5. 金銭の管理
6. ひどい物忘れ
7. 周囲への無関心

一部介助
一部介助
一部介助
全介助
一部介助
一部介助
見守りが必要
見守りが必要
全介助
一部介助
全介助
ある
ある

第6群 1. 視力
(意思疎通) 2. 聴力
3. 意思の伝達
4. 指示への反応
5. ア. 毎日の日課を理解
イ. 生年月日をいう
ウ. 短期記憶
エ. 自分の名前をいう
オ. 今の季節を理解
カ. 場所の理解

大声が聴こえる
ほとんど不可
できない
できない
できない

第7群 ア. 被害的
(問題行動) イ. 作話
ウ. 幻視幻聴
エ. 感情が不安定
オ. 昼夜逆転
カ. 暴言暴行
キ. 同じ話をする
ク. 大声をだす
ケ. 介護に抵抗
コ. 常時の徘徊
サ. 落ち着きなし
シ. 外出して戻れない
ス. 一人で出たがる
セ. 収集癖
ソ. 火の不始末
タ. 物や衣類を壊す
チ. 不潔行為
ツ. 異食行動
テ. 性的迷惑行動

ある
ある
ときどきある
ある

認定調査票（特記事項）

1. 麻痺・拘縮に関連する項目についての特記事項

（1-1 麻痺等の有無）下肢の筋力低下。

3. 複雑な動作等に関連する項目についての特記事項

（3-4 洗身）指示によって、前の方を少しだけ洗える。

4. 特別な介護等に関連する項目についての特記事項

（4-5 排尿後の後始末）1日10回以上、トイレに行く。そのたびにトイレの周りを汚す。また、1日に数回パンツ、ズボンを替える。

（4-6 排便後の後始末）自分ではきれいに拭けない。

7. 問題行動等に関連する項目についての特記事項

（キ 同じ話をする）することがないとテーブルをたびたびたたく。

（シ 外出して戻れない）トイレや自分の部屋やベッドがわからないことがたびたびある。

（チ 不潔行為）夜間は毎日、廊下で放尿する。

記入日 平成12年 3 月 〇 日

1. 傷病に関する意見

2. 特別な医療 (過去14日間以内に受けた医療のすべてにチェック)

3. 心身の状態に関する意見

90

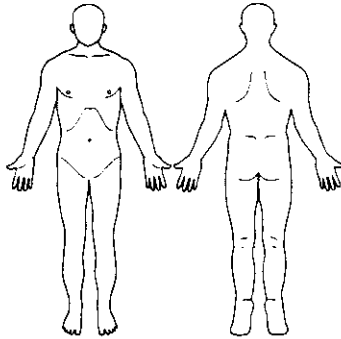
(4) 精神・神経症状の有無
☐有 (症状名) ☒無
 (有の場合) → 専門医受診の有無 ☐有 () ☐無

(5) 身体の状態
 利き腕 (☒右 ☐左) 体重 = kg 身長 = cm

凡例

☐ 四肢欠損	(部位: 程度: ☐ 軽 ☐ 中 ☐ 重)	
☐ 麻痺	(部位: 程度: ☐ 軽 ☐ 中 ☐ 重)	
☒ 筋力の低下	(部位: 両下肢 程度: ☒ 軽 ☐ 中 ☐ 重)	
☐ 褥瘡	(部位: 程度: ☐ 軽 ☐ 中 ☐ 重)	
☐ その他皮膚疾患	(部位: 程度: ☐ 軽 ☐ 中 ☐ 重)	

☐関節の拘縮 ・肩関節 ☐右 ☐左 ・股関節 ☐右 ☐左
 ・肘関節 ☐右 ☐左 ・膝関節 ☐右 ☐左
☐失調・不随意運動・上肢 ☐右 ☐左 ・体幹 ☐右 ☐左
 ・下肢 ☐右 ☐左



4. 介護に関する意見

(1) 現在、発生の可能性が高い病態とその対処方針
☒尿失禁 ☒転倒・骨折 ☒徘徊 ☐褥瘡 ☐嚥下性肺炎 ☐腸閉塞 ☐易感染性
☐心肺機能の低下 ☐痛み ☐脱水 ☐その他 ()
 → 対処方針 ()

(2) 医学的管理の必要性 (特に必要性の高いものには下線を引いて下さい)
☐訪問診療 ☒短期入所療養介護 ☐訪問栄養食事指導
☐訪問看護 ☐訪問歯科診療 ☐その他 ()
☐訪問リハビリテーション ☐訪問歯科衛生指導
☐通所リハビリテーション ☐訪問薬剤管理指導

(3) 介護サービス (入浴サービス、訪問介護等) における医学的観点からの留意事項
 ・血圧について ☒特になし ☐あり ()
 ・嚥下について ☒特になし ☐あり ()
 ・摂食について ☒特になし ☐あり ()
 ・移動について ☐特になし ☒あり ()
 ・その他 ()

(4) 感染症の有無 (有の場合は具体的に記入して下さい)
☐有 () ☒無 ☐不明

5. その他特記すべき事項

要介護認定に必要な医学的なご意見等をご記載して下さい。なお、専門医等に別途意見を求めた場合はその内容、結果も記載して下さい。(情報提供書や身体障害者申請診断書の写し等を添付して頂いても結構です。)

痴呆症状の増悪がみられ、問題行動(徘徊、妄想、失禁、意思疎通の困難さ)があり、筋力低下による歩行障害がみられ、生活全般に介助による見守りが必要である。